

平成29年度  
社会福祉法人 富士宮市社会福祉協議会 事業報告

I 本部拠点事業

(1) 法人運営事業

●理事会・評議員会等の開催

理事会

開催年月日	主な審議内容
平成29年5月23日	○平成28年度事業報告の承認 ○平成28年度会計収入支出決算の承認 ○富士宮市社会福祉協議会会長表彰について ○評議員会の招集について
平成29年6月14日	○会長・副会長の選任について ○評議員選任・解任委員会の委員の選任について ○評議員の推薦について
平成29年9月26日	○富士宮市社会福祉協議会定款の一部変更について ○富士宮市社会福祉協議会経理規程の一部変更について ○平成29年度富士宮市社会福祉協議会会計補正予算（第1号）の同意について ○評議員会の招集について
平成30年2月20日	○富士宮市社会福祉協議会就業規則の一部変更について ○平成29年度富士宮市社会福祉協議会会計補正予算（第2号） ○評議員会の招集について
平成30年3月19日	○富士宮市社会福祉協議会給与規程の一部変更について ○平成30年度富士宮市社会福祉協議会事業計画の同意について ○平成30年度社会福祉法人富士宮市社会福祉協議会会計予算（案）の同意について ○社会福祉法人富士宮市社会福祉協議会評議員会の招集について ○会長及び常務理事の職務の執行状況（報告） ○応急小口資金貸付金の貸付・返済・損失処理等に係る調査結果（報告）

評議員会

開催年月日	主な審議内容
平成29年6月7日	○富士宮市社会福祉協議会理事及び監事の選任 ○平成28年度事業報告の承認 ○平成28年度会計収入支出決算の承認 ○役員等の費用弁償に関する規程の一部変更について
平成29年10月4日	○富士宮市社会福祉協議会定款の一部変更について ○平成29年度富士宮市社会福祉協議会会計補正予算（第1号）の承認について
平成30年2月28日	○平成29年度富士宮市社会福祉協議会会計補正予算（第2号）
平成30年3月28日	○平成30年度富士宮市社会福祉協議会事業計画の承認について ○平成30年度社会福祉法人富士宮市社会福祉協議会会計予算（案）の承認について

評議員選任・解任委員会

開催年月日	主な審議内容
平成29年7月27日	富士宮市社会福祉協議会評議員の選任について

●**監査**

平成28年度の会計監査、業務監査を実施しました。【平成29年5月12日】

●**定款規程等の改正及び変更**

・介護保険法改正により、介護保険法に基づく介護予防・日常生活支援総合事業を新たに追加するための富士宮市社会福祉協議会定款の変更、その他経理規程及び就業規則、給与規程の見直しを行い、一部変更を行いました。

●**役員及び職員研修**

役員研修

・平成30年度新規事業（生活支援体制整備事業・市民後見人養成）について理事会・評議員会終了後説明を行いました。【平成30年2月20日・28日】

職員研修

・社会福祉法人制度改正について【平成29年9月13日】  
・障害者差別解消法・手話言語条例について【平成29年10月12日・19日】

●**実習生の受け入れ**

これから社会福祉を担う学生に社会福祉専門職に求められる姿勢、態度、援助技術を身につける実地教育の場を提供し、社会福祉の増進に繋がるよう指導・育成を行いました。

●**社会福祉協議会会員加入促進**

多くの市民や企業の皆様に賛同いただけるよう、日赤・社協合同大会や民生委員児童委員協議会総会でのお願いや、市内14か所の各地区社会福祉協議会総会で会員加入促進のお願いをしました。

●**家族介護教室**

在宅で介護をしている家族等の様々なニーズに対応し、介護に関する情報提供や介護方法の知識と技術を習得する事で、介護者の身体的、精神的、経済的な負担の軽減を図ると同時に、要介護者の在宅生活の資質向上につながるよう開催しました。【実施回数：12回・参加者数：239名】

講演：「しってほしい！認知症のこと」

講師：東静岡神経センター 院長 土居一丞氏

●**富士宮市社会福祉協議会経営改善計画の推進**

計画的に経営の安定化を図るとともに、より良い職場環境の構築に努めました。【検討会12回・全体会2回】

●**行政とのパートナーシップの構築**

地域福祉推進に必要な人材確保と事業費への公費補助金の理解を含め、地域福祉施策の充実に取り組みました。

●**消防訓練の実施**

万一の地震や火災を想定し、職員が適切で迅速な対応ができるよう訓練を行い、防災組織運営の意識向上を図りました。【平成29年9月1日・平成30年3月23日】

●**車いすの貸出事業**

介護保険の認定申請中の方、急な外出やけがにより一時的に必要な方等に対し、短期間の貸出を行いました。

※（ ）は前年度実績

物品名	貸出数
車いす	127 (124)

●**富士宮市民生委員児童委員協議会事務局**

役員会（12回）、各種研修、総会、全体会を行いました。

・平成29年度は民生委員制度創設100周年を記念して、昨年度に引き続き富士山御神火祭りにてPRパレード、全体会では鎌田寛氏を講師に記念講演を開催しました。

●**日本赤十字社富士宮市地区事務局**

罹災世帯への災害救援品の交付、義援金・海外救援金の情報発信と受付業務を行いました。

また、日本赤十字社で行う救急法講習等の周知を自治会や学校などに行いました。

●**ふじさんシニアクラブ富士宮事務局**

総会、常任理事会、理事会、各部会、研修及び各事業への支援を行いました。

## (2) 企画広報事業

### ●広報紙発行事業

「明るいまち」を発行し、本会事業とその他福祉の情報提供を行い、地域福祉の推進を図りました。

配布先：全戸配布 発行回数：年4回(4・7・10・1月)

### ●ホームページの有効活用

ホームページを有効に活用し、情報発信を行いました。

### ●日赤社協合同大会開催

日赤・社協の事業周知と、両事業への理解と協力を呼びかけました。

対象：区長・町内会長 実施日：7月1日(土)

講演：「一隅を照らす～自分の持ち場で一生懸命～」

講師：落語家・僧侶 露の団姫氏

### ●表彰・感謝状の贈呈

表彰規程に基づき、社会福祉功労者や協力者への表彰・感謝状の贈呈を行いました。

- ・富士宮市社会福祉協議会会長表彰 24名
- ・富士宮市社会福祉協議会会長感謝状 16名
- ・日本赤十字社業務功労 1名
- ・日本赤十字社社資功労 2名
- ・静岡県共同募金会感謝状 3名

## (3) 地域福祉推進事業

### ①地域福祉推進事業

#### ●地域福祉推進計画

- ・地域福祉推進計画情報交換会の開催

日時：平成30年1月25日(木) 10:00～

出席者：市関係各課係長・社協各係長、事務局担当職員

内容：地域福祉推進計画の取り組みについての報告及び意見交換

- ・地域福祉計画策定専門委員会、地域福祉活動計画策定・推進委員会、合同会議の開催

日時 平成30年2月21日(水) 19:00～

場所：市役所111会議室

出席者：両委員会委員10名、(事務局 福祉企画課、市社協地域ささえあい係 担当4名)

内容：地域福祉推進計画策定2年目における事業実施状況の報告、各事業推進に関する意見交換。

#### ●福祉のまちづくりサポーター現況調査の実施

サポーターに対し、現在の活動状況、活動における課題、今後の活動に対する意欲等について、聞きとり調査及びアンケート調査を行いました。

アンケート送付数：321人 返信数：170人 回収率：53.0%

調査期間：平成30年2月～3月※現在アンケート調査結果の集計中。

#### ●連携会議

地域包括支援センター、福祉相談センター、健康増進課、地区社協、市社協等で情報共有、個別ケースの検討などを行いました。

- ・富士根南6回、芝川12回、上井出6回、大宮西地区5回、大富士地区5回実施

- ・地区社協関係者との打ち合わせ：富士根北12回

#### ●地域福祉実践セミナーの開催【参加者：301人】

日時：平成30年3月11日(日) 13:00～15:30

会場：富士宮市総合福祉会館 安藤記念ホール

内容：第一部 基調講演『地域におけるかかりつけ医の役割』

～現在の医療制度と今後の展望から地域との関わりを考える～

講師：医療法人社団三賢会 富士宮中央クリニック 院長 瀧本晃司氏

第二部 シンポジウム『住民が孤立しない地域をつくるには』

～今こそ問われる多様な連携・協働の必要性～

コーディネーター：富士宮市社会福祉協議会 地域ささえあい係長 小野田正樹

シンポジスト：富士宮中央クリニック 院長 淵本 晃司 氏

富士宮市介護保険事業者連絡協議会 会長 渡邊一敏 氏

富士根北地区社会福祉協議会 会長 大河原 忠 氏

②地域福祉教育事業

●福祉教育推進連絡会の実施

日時：平成29年6月20日（火）15:00～16:30

場所：富士宮市総合福祉会館 第1・2会議室

参加者：市立小学校の教諭14名、市立中学校の教諭13名

協力者：点字情報富士宮 代表 川口陽三氏、平野典司氏

福祉教育アドバイザー 大森 衛 氏

内容：講話、実践報告、グループワーク

●学校における福祉教育プログラムの支援

開催：6月 2件、7月 2件、8月 1件、9月 4件、10月 8件、11月 6件、12月 1件

実施校：小学校9校、中学校3校、高校 市内全高校対象

内容：障がいの理解、ユニバーサルデザイン、地域福祉についての講話、地域寄り合い処での交流、中学生ボランティア講座事前学習、中学生校外学習、高校生向け認知症サポーター養成講座

講師：地域の講師…19名、行政…4名、事業所・福祉相談センター…5名、市社協…8名

【講師紹介・調整】

依頼者：静岡県立富士宮東高等学校

内容：手話についての講話と実技

対応：市介護障害支援課に相談・依頼

●他機関との連携

- ・中学生ボランティア講座事前研修会

依頼者：市社会教育課

実施日：平成29年7月31日（土）9:00～11:30

内容：夏休み福祉ボランティア講座の事前研修会で、施設でのボランティア活動を行う中学生に対して事前学習を行い、高齢者の身体的特徴やコミュニケーションの取り方について理解を促すため、車いすの乗り方と実践の演習を行いました。

- ・高校生向け認知症サポーター養成講座

依頼者：市福祉総合相談課

実施日：平成29年8月10日（木）13:30～16:00

●福祉教育に必要な備品の貸し出し

貸出時期 と件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	0件	2件	2件	2件	1件	5件	10件	9件	1件	2件	0件	0件

貸出備品 と件数	高齢者疑似体験	アイマスク	白杖	点字練習セット	車椅子
	13件	14件	12件	4件	12件

●福祉教育に必要な備品の購入

ボッチャ1セット、白杖10本

### ③地区社協活動事業

#### ●地区社協リーダー会議

- ・地区社協会長・企画委員長合同会議

日 時：平成29年6月2日(金)13:30～

内 容：情報共有及び研修

研修テーマ：掛川市西山口地区における地域福祉の推進について

講 師：西山口地区福祉協議会 企画委員長 菅沼 孝行氏

説 明：包括支援センター再編について 福祉総合相談課 係長 新谷久美子氏

参加者：市内14地区社協の会長、企画（推進）委員長 計27人

- ・地区社協企画委員長会議

日 時：平成30年3月15日(木)13:30～

内 容：①情報共有 ②実践報告 ③意見交換

実践報告：「芝川地区社協内組織改編の取組み」について

芝川地区社会福祉協議会 会長 佐野妙子様

各地区社協の平成30年度重点事業について

参加者：市内14地区社協企画（推進）委員長 計15人

#### ●地区社協助成金の交付

- ・各地区社協に対し、事業運営が円滑に推進できるよう事業費・運営費の助成をいたしました。

#### ●職員のスキルアップ

- ・コミュニティワーク研修への参加 職員1名

「地域アセスメント編」

日 時：平成29年12月15日(金)13:30～16:00

場 所：静岡県男女共同参画センターあざれあ

内 容：地域アセスメント・地域アセスメントの手法を学ぶ

講 師：駒沢大学社会学科 准教授 川上富雄 氏

「地域福祉（活動）計画編」

日 時：平成30年2月1日(木)13:00～

場 所：静岡市レイアップ御幸町ビル

内 容：地域福祉（活動）計画について・グループワーク

講 師：聖徳大学心理・福祉学部 教授 豊田宗裕 氏

### ④地域寄り合い処事業

#### ●地域寄り合い処運営支援

代表者やスタッフ、参加者から、運営上の課題や要望などを把握し、課題の改善や活動が活発になるよう支援調整を行いました。

内 容

(1) 地域寄り合い処事務処理

- ①活動報告書・決算書の処理 ②開設計画書・予算書・補助金申請書の処理 ③補助金交付処理
- ④ふれあいサロン傷害補償加入手続き及び事故対応手続き

(2) 継続的支援等コーディネート業務

- ①円滑な運営のため、開催日訪問し活動に対する課題等聞き取り、解決支援 ②講師やボランティアのコーディネート ③地域への周知方法助言 ④参加困難者（福祉相談センター、地域包括支援センター、ケアマネジャーからの依頼等）の地域における状況把握、同行訪問等 ⑤ボランティア希望者のコーディネート ⑥代表者・スタッフとの会合 ⑦活動が衰退しないよう支援及び関係機関等への調整

総開所数：120か所（※平成28年度実績 116か所）

延年間利用人数：33,241名（※平成28年度実績 32,306名）

(3) 地域寄り合い処開所支援 (旧地域寄り合い処出前講座)

開催地区 : 村山3区、淀師区3町内、佐折区、内房2区、下柚野区、野中4区、福地区、日の出区

参加延人数 : 計 197名

新規開所数 : 6ヶ所 (※平成28年度実績 8か所)

村山3区寄り合い処、ひまわり寄り合い処、寄り合い処佐折の里、仲良し寄り合い処、しもゆの寄り合い処、野中4区寄り合い処

●地域寄り合い処スタッフ研修会

全体研修

日 時 : 平成29年10月8日 (日) 9:30~11:45

テーマ : コミュニケーション技法を学ぼう、地域寄り合い処実践報告

講 師 : Coaching Academy 静岡校 酒井美保校長

報告者 : 万野四区ふみよ会寄り合い処 杉山百合子氏

大久保寄り合い処 佐野 妙子氏

寄り合い処憩いの広場絆 須佐ミチ子氏

会 場 : 富士宮市総合福祉会館2階 安藤記念ホール

対 象 : 寄り合い処代表・ボランティアスタッフ

参加者 : 126名

見学

日 時 : 全24日程を設定

会 場 : 12会場

対 象 : 寄り合い処代表・ボランティアスタッフ

見学者 : 47か所地域寄り合い処 80名

成 果 : 見学を通し、スタッフの動き・活動内容等を見ながら自分たちの活動を振り返り、新たな気づきを促す良い機会となりました。

名称・会場	日程	見学者数
寄り合い処なかいで (北山1区) 中井出会館	12/17(日) 9:30~11:30 3/18(日) 9:30~11:30	8名 (他社協職員2名) 3名 (他社協職員1名)
万野4区ふみよ会寄り合い処 (万野4区) 万野4区区民館	12/19(火) 9:30~11:30 2/27(火) 9:30~11:30	6名 (他社協職員2名) 4名 (他社協職員2名)
青木平寄り合い処 (青木平区) 青木平区民館	11/30(木) 10:00~11:30 12/12(火) 10:00~11:30	4名 (他社協職員2名) 2名 (他社協職員2名)
安居山二区寄り合い処西の里 (安居山二区) 安居山2区区民館	2/20(火) 10:30~12:30 3/20(火) 10:30~12:30	5名 (他社協職員1名) 7名 (他社協職員1名)
寄り合い処のぞみ (源道寺区) 源道寺区民館	11/27(月) 9:30~11:30 3/26(月) 9:30~11:30	7名 (他社協職員2名) 4名 (他社協職員1名)
黒田よりあいサロン (黒田区) 黒田区民館	11/23(木) 9:30~11:30 1/11(木) 9:30~11:30 1/25(木) 9:30~11:30	2名 (他社協職員2名) 2名 (他社協職員2名) 3名 (他社協職員1名)
寄り合い処やまざくら (山本区) 山本第一公民館	12/14(木) 9:30~11:30 2/22(木) 9:30~11:30	2名 (他社協職員2名) 3名 (他社協職員1名)
大岩3区寄り合い処大きな和 (大岩3区) 時田八幡宮	1/ 9(火) 9:30~11:30 3/ 6(火) 9:30~11:30	3名 (他社協職員2名) 2名 (他社協職員1名)
寄り合い処憩いの広場絆 (杉田4区) 杉田4区3町内集会場	2/ 2(金) 10:00~12:00 3/ 2(金) 10:00~12:00	7名 (他社協職員1名) 0名 (他社協職員0名)

寄り合い処5区楽 (杉田5区)杉田五区区民館	11/20(月)13:30~15:30 2/19(月)13:30~15:30	1名(他社協職員2名) 1名(他社協職員2名)
大久保寄り合い処 (大久保区)大久保公民館	11/21(火)10:00~11:30 1/16(火)10:00~11:30	0名(他社協職員0名) 3名(他社協職員1名)
すなはら寄り合い処おいっちに (長貫区)天満宮 砂原老人の家	11/12(日)10:00~11:30	0名(他社協職員0名)

●地域寄り合い処アンケート

対 象 : 既設寄り合い処116か所、代表者・スタッフ及び参加者  
 実施期間 : 平成29年9月1日~平成29年12月28日  
 回収か所 : 98か所(116か所中)  
 回収枚数 : 代表者・スタッフ 512枚・参加者 1,315枚

⑤子育てサロン事業

未就園の子どもを持つお母さんたちが、地域で安心して子育てができる居場所、交流場所、相談場所として、地域に根ざした活動を進めてきました。

●地域子育てサロン開設の推進

子育てサロン数 : 18か所(平成29年度新規開設 2か所)  
 1回利用平均25名(親子あわせて)、年間利用総数7,836名

●地域子育てサロンの運営支援

子育てサロン実施日に会場へ訪問し、代表者やスタッフ、利用者から話を聞き、運営上の課題や希望などを把握し、よりスムーズな運営に繋がるよう支援しました。  
 平成29年度訪問件数 : 68回

●キラキラサロンの開催

開催日時 : 毎月第2水曜日 9:30~11:30

4/12、5/10、6/14、7/12、8/9、9/13、10/11、11/8、12/13、1/10、2/14、3/14

会 場 : 総合福祉会館和室

対象者 : 子育てに不安を抱える親子

内 容 : 市健康増進課における乳幼児全戸訪問事業において気がかりな親子に声掛け、誘い出しを行い、親子のふれあい遊びやアドバイザーによる絵本の読み聞かせ、手遊び等を行い、育児に対する不安の解消を図りました。

年間利用総数112名

●スタッフ研修会の開催

第1回

日 時 : 平成29年7月28日(金) 13:30~15:00

会 場 : 総合福祉会館第1・2会議室

内 容 : 救急講座

参加者 : 子育てサロンスタッフ、子育てサロンアドバイザー、子育てサロンサポーター養成講座  
 修了者 計31名

講 師 : 西消防署 職員

第2回

日 時 : 平成29年10月24日(火) 13:30~15:30

会 場 : 総合福祉会館第1・2会議室

内 容 : 最近の子育て事情と子育てサロンの大切さ

参加者 : 子育てサロンスタッフ、子育てサロンアドバイザー、公立保育園園長、保健師 計55名

講 師 : 常葉大学富士キャンパス 保育学部 村上博文氏

●子育てサロンフェスティバルの開催

日時：平成30年3月2日（金） 10:00～11:30  
会場：総合福祉会館安藤記念ホール、ふれあいロビー、第1・2会議室、創作室  
対象：市内18か所子育てサロン参加者  
内容：親子ふれあい遊び、子育て相談、健康相談、おもちゃ病院等、0歳児コーナー  
参加者：252名

●子育て支援連絡会

日時：年4回 原則第3水曜日 9:30～11:30  
5月17日（水）、8月2日（水）、11月15日（水）、2月7日（水） 計4回  
会場：富士宮市総合福祉会館 1階 第1会議室  
参加者：子育てサロン代表者、主任児童委員、子育てサロンアドバイザー、市子ども未来課、市健康増進課、社会福祉協議会

●地域子育てサロンアドバイザー連絡会

日時：年4回子育て支援連絡会開催月の前月 10:00～12:00  
4月20日（金）、7月28日（金）、10月27日（金）、1月26日（金） 計4回  
会場：富士宮市総合福祉会館 1階 ミーティングルーム

●他機関との連携

- ・市健康増進課と連携し、6か月健診や1歳6か月健診時に保健センターへ訪問し、子育てサロン等についての説明を実施。（年6回）
- ・公立保育園との連絡会（年1回）

⑥第1層生活支援コーディネーター事業（10月1日より市受託事業）

高齢者の生活支援・介護予防サービス体制整備を推進していくことを目的とし、地域において、生活支援・介護予防サービスの提供体制の構築に向けたコーディネート（主に資源開発やネットワーク構築）を行いました。

●打ち合わせ、会議への出席

- ・生活支援・介護予防サービス体制整備協議体への出席…3回
- ・コーディネーター・事務局との打ち合わせ…6回
- ・地区社協会議…15回
- ・連携会議…10回
- ・地区社協関係者との打ち合わせ…18回

●地域資源の状況把握

- ・地域寄り合い処、地区社協、ボランティア活動等の活動状況や生活支援ニーズを把握

●地域資源に関する情報整理

- ・地域寄り合い処、地区社協、ボランティア活動等に関する情報整理等…96時間

●各地区社協への説明会

- ・第1層生活支援コーディネーター及び協議体委員で市内14地区社協に出向き、生活支援体制整備事業についての説明及び意見交換

①上野地区社協	12/12(火) 14:00～15:50	出席者16人
②白糸地区社協	12/13(水) 9:30～11:00	出席者 9人
③大宮東地区社協	12/15(金) 19:00～21:00	出席者11人
④芝川地区社協	12/20(水) 13:30～15:00	出席者 6人
⑤大宮地区社協	1/11(木) 13:30～15:00	出席者12人
⑥大富士地区社協	1/15(月) 19:00～20:30	出席者10人
⑦柚野・稲子地区社協	1/17(水) 13:30～15:00	出席者17人
⑧大宮西地区社協	1/24(水) 13:00～15:00	出席者10人
⑨北山・山宮地区社協	1/26(金) 13:30～15:30	出席者14人
⑩富士根北地区社協	1/30(火) 10:00～12:00	出席者11人
⑪上井出地区社協	2/ 8(水) 13:30～15:30	出席者11人



- ⑫猪之頭地区社協 2/ 9(金) 15:00～16:30 出席者14人
- ⑬富士根南地区社協 2/14(金) 15:00～16:30 出席者13人
- ⑭富丘地区社協 2/23(金) 13:30～15:30 出席者18人

●連絡会・研修等への参加

- ・東部地区生活支援コーディネーター情報交換会  
日 時 2月5日(月) 13:30～16:00  
会 場 東部総合庁舎
- ・富士市生活支援体制整備事業シンポジウム  
日 時 3月15日(木) 13:30～16:30  
会 場 富士市ロゼシアター

●その他

- ・社協職員への説明 2月13日(火)
- ・理事、評議員への説明
  - ①理事会 2月20日(火) ②評議員会 2月28日(水)
- ・生活支援体制整備事業フォーラムの開催(市・協議体・市社協主催)  
日 時 平成30年3月25日(日) 14:30～17:00  
会 場 総合福祉会館 安藤記念ホール  
参加者 協議体委員の所属団体関係者(地区社協、区長会、民生委員児童委員協議会等)  
参加数 188名  
内 容 ①富士宮市における生活支援体制整備事業の取り組みと状況説明  
②基調講演 「みんなで考えよう地域での助け合い、支えあい」  
講師 さわやか福祉財団 戦略アドバイザー 土屋幸己氏  
③演劇「地域あるある物語」  
出演 芝川住民でつくる劇団 芝楽  
④講師と第1層生活支援コーディネーターとの対談  
生活支援コーディネーター：増田恭子氏(協議体委員)、久保田絵美子氏(市地域包括支援センター)、小野田正樹(市社協)

(4) ボランティア活動事業

●ボランティア活動の相談支援・調整

ボランティア活動の相談受付や調整を行いました。

内訳		件数( )内は活動につながった人	
		H29年度(人)	H28年度(人)
コーディネート	活動希望	12 (5)	10 (7)
	活動依頼	27	15
登録	団体登録	53	55
	個人登録	21	34
その他	活動に関する相談	42	17
	活動先訪問	3	3

●ボランティア活動保険の加入促進

加入者1,821名(団体:51団体1,795名、個人:29名)

●ボランティア連絡会の事務局としての支援

加盟団体:28団体 1,081名

役員会6回、定例会7回、学習会2回、視察研修会1回、静岡県ボランティア研究集会への参加、ふれあいトークの開催、広報紙発行2回、東部ボランティア連絡会2回、ボランティア依頼6件対応

●災害ボランティアコーディネーター養成講座の開催

実施日時：平成29年7月22日(土)、23日(日)、30日(日)

受講者：15名

ふじのくに災害ボランティアコーディネーター認定者：11名

内容：富士宮市における被害想定と避難所運営について  
災害ボランティアコーディネーターについて、

災害ボランティア本部実習

講師：災害ボランティアコーディネーター富士宮連絡会  
市危機管理局、市福祉企画課

●災害ボランティア本部運営

災害ボランティア本部運営の検討会を8回実施し、他市町のマニュアルを参考に本部立上げの流れや運営方法、本部運営に必要な備品を検討しました。また、災害時の社協職員の動きについて検討しました。

●家具固定事業の実施

経済的な理由で専門家に家具固定を依頼できない高齢者や障害者の世帯を対象に、家具の固定を行いました。

実施日時：平成30年1月21日(日)

軒数：8軒

参加スタッフ：震災から命を守る富士宮大工の会 10名

災害ボランティアコーディネーター富士宮連絡会11名

日本建築専門学校学生 5名

市福祉企画課、市危機管理局 2名

市社会福祉協議会 3名

合計31名

\*家具固定事業募集案内を野中4区、内房1・2・3・4区にて回覧していただき、黒田区は1000部を全戸配布し、黒田区より申し込みがありました。

(5) 子育て支援センター事業

●子育て支援センターたち運営(市受託事業)

開所日：火～土 9:00～12:00、13:00～15:00

事業内容

- ・未就園の子どもと親に対する交流の場の提供及び交流の促進
- ・子育てに関する相談及び援助の実施
- ・地域の子育てに関する情報提供
- ・子育て及び子育て支援に関する講習(月1回以上)

実施状況

開所日数：243日 延べ利用者数：13,350人(1日平均54.9人)

利用者サークル回数：45回 延べ利用者数：315人

電話相談：10件 面接相談：1,752件

育児講座実施回数：39回 延べ利用者数：1,645人

育児講座内容

4月	・子育て講座	10月	・読み聞かせ講座 ・運動会ごっこ
5月	・睡眠講座	11月	・栄養講座
6月	・親子体操講座	12月	・クリスマス会
7月	・交通安全講座	1月	・ベビーマッサージ講座
8月	・歯科講座	2月	・豆まき会・創作講座
9月	・防災講座	3月	・お別れ会 ・歯科講座

●育児中の母親等社会参加促進事業（県子ども未来課主管事業）

「商品開発などに活かす取組事業」

企業と協力し、日々の育児を通して培われる母親の感性・アイデアを提供いただき、育児商品に反映していただきました。

・子育てママのミニ講座 提供：中央静岡ヤクルト販売㈱

開催日 11月30日（金） 参加者 35人

「子育て現場に活かす取組事業」

OBママの子育て応援プロジェクト

たちちを利用していただいていた先輩ママが、子どもが通園している時間を利用し、現在利用している保護者への相談等行いました。

計10回 433名

●文化伝承事業 協力：ふじさんシニアクラブ富士宮

F S C会員と利用者が紙芝居や折り紙など昔の遊びなどを通して交流を図りました。

開催日 9月30日（土） 参加者 44人

10月 5日（木） 参加者 38人

1月29日（土） 参加者 38人

●地域交流事業 協力：富丘地区社会福祉協議会

富丘地区社協主催「あったか家族のつどい」参加者（高齢者）とたちち利用者 が総合福祉会館大広間にて歌・踊り等を通じて交流を図りました。

開催日 8月18日（金） 参加者 69人

12月15日（金） 参加者 67人

3月 9日（金） 参加者 86人

（6）しあわせ支援事業

①応急小口資金貸付事業

生活困窮世帯に対し、緊急かつ一時的に必要な生活資金の貸付を行い、生活の安定と福祉の増進を図ることを目的として実施しました。

貸付件数・金額 29件 / 1,220,000円

償還件数・金額 52件 / 625,250円

②高額療養費貸付事業

富士宮市の国民健康保険加入者で限度額適用認定証の交付を受けられない方を対象に貸付を行い、その対象者が一時的に支払うべき医療費の負担の軽減を図りました。貸付件数：154件

総 額：21,557,602円（うち 本人返還 407,820円）

③生活福祉資金貸付事業

低所得者や高齢者、障害者の生活を経済的に支えるとともに、その在宅福祉及び社会参加の促進を図ることを目的とした静岡県社会福祉協議会が実施する貸付制度で、富士宮市社会福祉協議会が窓口となり貸付を行いました。

緊急小口資金：14件（1,267,000円）

生活支援費：3件（876,000円延長を含む）

福祉資金：3件（796,000円）

住宅入居費：1件（215,000円）

教育支援資金：3件（771,000円）

一時生活再建費：1件（212,000円）

④権利擁護事業

●日常生活自立支援事業

判断能力が不十分な方（認知症高齢者・知的障害者・精神障がい者等であって日常生活を営むのに必要なサービスを利用するための情報の入手・理解・判断・意思表示を本人のみでは適切に行うことが困

難な方)に対し、地域において自立した生活が送れるよう、利用者との契約に基づき支援を行いました。

また、増加する利用者に対応するため1名の新規生活支援員を増員しました。

利用者の状況を確認し、必要に応じて成年後見制度への移行のための関係調整を行いました。

- ・契約者数： 75件（内新規契約数18件）
- ・解約件数： 14件（死亡8件・後見人へ移行2件・施設入所1件・本人申し出3件）
- ・実働件数：1,399件（内訳：認知症399件、知的障害389件、精神障害278件、その他333件）
- ・相談件数：2,285件（内訳：認知症619件、知的障害931件、精神障害438件、その他297件）

#### ●富士宮市成年後見推進事業

市民後見人養成講座の実施に向けて、以下のとおり事業推進を行いました。

- ・年4回のワーキングに参加し次年度開催に向けての内容を精査した

- ・市民後見人の理解を深めるための講演会の開催

日時：平成30年3月19日（月）13:00～

内容：「地域で支える成年後見 地域を支える市民後見」

講師：聖隷クリストファー大学 横尾恵美子教授

参加人員：48名

- ・周知のためのパンフレット作成

リーフレット「市民後見人のススメ」

パンフレット「市民後見人養成講座カリキュラム」 作成配布

#### ⑤相談事業

結婚を希望する男女の出会いの場として、月5回（第1・2水曜日・第3土曜日・第2・4日曜日）、結婚相談事業を実施し、民生委員児童委員協議会、更生保護女性会より選出された相談員10名が、相談受付からマッチング、見合い、成立までをサポートしました。

また、出会いを求める男女のきっかけづくりとして、恋活・友活・応援イベントを実施しました。

第1回 日時：平成30年12月2日（土）11:00～15:00

参加者：30代の男女16名（男性10名 女性6名）

会場：STUDIO GARDEN

第2回 日時：平成30年2月24日（土）11:00～15:00

参加者：30代～40代の男女14名（男性9名 女性5名）

会場：STUDIO GARDEN

<平成29年度実績>

結婚成立件数： 1件

見合い実施件数： 53件

新規登録者数： 48名

相談件数： 877件（男性490件女性387件）

#### ⑥遺児・交通遺児援護事業

交通事故で親を亡くした児童、何らかの理由により両親を亡くした児童に対し、学資手当及び入学支度金を支給し、学資を援助することで児童の健全育成を図りました。

##### 【遺児】

18歳未満で、両親が何らかの理由で亡くなられた児童に手当を支給しました。

対象者：3人 支給額：月額5,000円（中学生まで）、10,000円（高校）

中学入学：1人 入学支度金： 50,000円

##### 【交通遺児】

18歳未満で、交通事故により親を亡くした児童に対し、手当等を支給しました。

対象者：3人 支給額：月額5,000円（中学生まで）、10,000円（高校）

入学 : 0人

※入学支度金：保育園・幼稚園入園… 3万円 小中学校入学… 5万円 高等学校進学…10万円  
専修学校・各種学校進学…10万円 大学進学…15万円

※リーフレットを作り直し、広く周知に努めました。

## ⑦生活困窮者自立支援事業

生活困窮者が困窮状態から早期脱却することを支援するため、本人の状態に応じた包括的かつ継続的な相談支援等を実施。地域における自立・就労支援等の理解を深めるための事業周知のチラシ配布や講演会を開催しました。

主任相談支援員（専任1人）相談支援員（専任1人、兼任1人）

家計相談支援員（兼任1人、兼任1人）

### ●自立相談支援事業【必須事業】

相談者の課題把握、支援計画を含む包括的な支援、地域のネットワークづくり等を実施しました。

自立相談支援事業相談実人数 : 176人

自立相談支援事業支援延件数 : 1,406件

家計相談支援事業へつないだ件数 : 25件

就労準備支援事業へつないだ件数 : 31件

### ●家計相支援事業【任意事業】

家計収支全体改善のため、家計管理に関する指導、貸付けの情報提供等を実施しました。

家計相談支援事業支援延件数 : 322件

### ●民生委員児童員協議会、福祉相談センター、地区社会福祉協議会等に、チラシ等を使用し事業周知

### ●ふじのみやフードサポート、ベジタブルサポーター事業において住民や企業の事業理解を深めると共に地域力を活かした食料支援

ベジタブルサポーター登録者 : 10人

食料支援延件数 : 108件

### ●居場所づくり等

弁当作り、菓子作り : 計2回開催

### ●制度理解を深めるための講演会開催

日時：平成30年3月29日（木）18：30 富士宮市総合福祉会館

テーマ：子どもの貧困～私たちにできること～

講師：社会活動家/法政大学現代福祉学部教授 湯浅 誠氏

参加者：89名

## （7）共同募金配分金事業

社会福祉協議会事業をはじめ、市内の生活課題・福祉課題の解決に取り組む福祉団体・ボランティア団体に対し、財政面から支援を行いました。なお、昨年度においては、初めて配分委員による助成団体（5団体）の訪問を行い、共同募金の用途についての理解を深めました。

### ●赤い羽根共同募金助成事業公募

平成29年4月と平成30年1月に、岳南朝日新聞社や岳陽新聞社、ホームページなどを活用して広く公募をしました。

### ●配分金交付式の実施

第1回配分金については配分金交付式を行い、助成団体に対し共同募金の趣旨説明や住民への周知、街頭募金への協力を呼びかけました。

日時： 場所：第1会議室 参加団体：19団体

### ●配分委員会の開催

市民の方の意見が反映されるよう、住民を代表する区長会や民生委員児童委員協議会などの代表の方に配分委員となっただき、申請団体の助成内容を審議いたしました。

開催日時

- 第1回目 日時：平成29年 5月30日 場所：ミーティングルーム  
第2回目 日時：平成29年11月21日 場所：ミーティングルーム  
第3回目 日時：平成30年 2月 6日 場所：ミーティングルーム

●助成結果

静岡県共同募金会からの助成金

平成28年度共同募金・歳末たすけあい募金剰余金からの収入	10,592,752円
収入合計	10,592,752円

助成金の使途

地区社協事業・移動支援事業・修学旅行費助成事業 他6事業	7,893,915円
高齢者福祉事業	4団体 4事業 279,997円
障害福祉活動事業	13団体 19事業 1,090,000円
住民全般事業	2団体 2事業 850,000円
更生保護事業	2団体 2事業 230,000円
支出合計	10,343,912円

※収入合計10,592,752円－支出合計10,343,912円＝248,840円については、静岡県共同募金会へ平成30年度返還しました。

静岡県共同募金会からの助成金（歳末）

平成29年度歳末たすけあい募金からの収入	3,994,488円
収入合計	3,994,488円

助成金の使途

援護活動事業	206世帯 495人 2,103,000円
施設入所児童援護活動事業	9施設 30人 180,000円
支出合計	2,283,000円

※収入合計3,994,488円－支出合計2,283,000円＝1,711,488円については、静岡県共同募金会へ返還済で、平成29年度共同募金と合わせ歳末たすけあい剰余金として社会福祉協議会に助成されます。

II 介護保険事業

(8) 居宅介護事業

利用者の生活課題を整理し、自立した生活が送れるよう、また介護者の介護負担を軽減し在宅生活の継続が図れるよう支援しました。

- ・介護支援専門員業務の実施
- ・居宅介護支援費の請求
- ・受託業務の実施（介護予防支援・要介護認定訪問調査）
- ・実績 ※（ ）内は前年度  
要介護認定調査：8件（22）  
要支援1・2：54件（41） 要介護1・2：257件（301） 要介護3・4・5：103件（112）

(9) 訪問介護事業

要支援・要介護認定された方を対象に、ケアプランの下、生活援助・身体介護を実施しました。

- ・利用者 ※（ ）は前年度  
要支援1：4名（2名） 要支援2：7名（13名）  
要介護1：11名（12名） 要介護2：8名（7名） 要介護3：3名（2名）  
要介護4：0名（1名） 要介護5：2名（2名）  
延べ利用数 4,104件（3,841件）

### Ⅲ 障害福祉事業

#### (10) 地域活動支援センターバンブー

日中の居場所として生産活動や社会との交流を図り、安定した地域生活に繋がるよう支援しました。

・利用実績※（ ）内は前年度

年間延利用人数 1,863人 (1,432)

##### ●社会との交流や事業所周知の推進

5地域の地域寄り合い処への参加と、延べ196人のボランティアとの交流を行いました。

##### ●生産活動の推進

個々の状態に応じた生産活動と作業工程の工夫や職員の補助により、作業収入として1,566,950円を得ました。

##### ●社会適応の推進

社会適応訓練の一環として調理実習活動を2回実施しました。

#### (11) 地域活動支援センターふらっと

日中の居場所としての役割を果たすと共に、日常的な相談に応じ安定した地域生活に繋がるよう支援しました。

・利用実績 ※（ ）内は前年度

登録利用者数 119人 (107)、活動ボランティア数 187人 (138)

年間延利用人数 6,480人 (6,003)

(内訳) ・精神障がい者 3,858人 (3,597) ・知的障がい者 1,270人 (1,185)

・身体障がい者 658人 (616) ・高次脳機能障害 256人 (264)

・発達障害 438人 (341)

##### ●在宅で生活されている障がいを持たれた方を対象にした公開講座

第1回「ストレスを吹き飛ばせ！楽しい軽体操でリフレッシュ」

日 時：平成29年7月29日（土）13:30～15:30

会 場：富士宮市総合福祉会館第1会議室

講 師：日本3B体操協会 公認指導士 田村和江氏

参加者：10名

第2回「大人のぬり絵教室」

日 時：平成29年9月29日（土）13:30～15:30

会 場：富士宮市総合福祉会館第1会議室

講 師：アトリエムック 佐野 三恵子氏

参加者：11名

第3回「可愛いひなまつりクッキング」

日 時：平成30年2月17日（土）10:00～12:00

会 場：富士宮市総合福祉会館調理実習室

講 師：小野クッキングスクール 代表 小野 圭子氏

参加者：11名

##### ●地域住民向け公開講座

「みんなが共に暮らすまち ～コミュニティホームべてぶくろの当事者研究活動の実践から～」

日 時：平成30年2月18日（日）13:30～15:30

会 場：富士宮市総合福祉会館安藤記念ホール

講 師：コミュニティホームべてぶくろ主宰者 向谷地 宣明氏

コミュニティホームべてぶくろ当事者研究参加メンバー

鈴木 隆夫氏（グループホームしずく ピアサポーター）

埴 英一郎氏（横浜当事者研究会メンバー）

渡辺 基延氏（ハウジングファースト東京プロジェクトメンバー）

参加者：198名

※その他四季折々の行事や、調理・お菓子作りなどを随時開催

## (12) 指定相談事業

障がい者（児）等からの相談を受け、情報の提供・関係機関との調整を図ると共に、サービス等利用計画の作成・マネジメントを行いました。特に障がい児等からの相談に、重点的に取り組みました。

※（ ）は前年度

年間実利用者人員 : 727名（ 705名）・・・うち大人509名(574名)・こども 218名(131名)  
延べ相談件数 : 13,919件（12,722件）  
プラン作成 : 1,025件（ 947件）  
個別ケア会議開催件数 : 273件（ 191件）

## (13) 障害者居宅介護事業

障がいのある方の在宅生活が継続出来るように、家事援助・身体介護を行いました。また、通院介助・移動支援により安全、安心して外出する機会を持てるよう支援しました。

※（ ）は前年度

居宅介護事業 : 利用者23名（25名）延べ利用者1,932件（1,978件）  
移動支援事業 : 利用者 4名（ 5名）延べ利用者 28件（ 273件）

## (14) 障害者同行援護事業

視覚障がいのある方が、通院、買物等へ安全に外出できるよう支援しました。

※（ ）は前年度

利用者数 11名（9名） 延べ利用数 780件（630件）

## IV 総合福祉会館事業

### (15) 総合福祉会館

指定管理者として利用者が安心して利用できるように、清掃業務や水質検査、機器の修繕を行うことで施設の維持管理に努め、また、参加者同士の交流や生きがい作りのための各種講座の開催や視覚障がい者用の誘導マットの設置といった利用者の要望を取り入れ、サービス向上に努めました。

延利用者数 : 109,754人

会館日数 : 293日

1日当たり : 375人（前年比 : 97%）

#### ●自主事業の実施

健康体操教室(全10回×4講座 参加者240人) うどん作り教室 (1講座 参加者 16人)

男の料理教室 (1講座 参加者 10人) そば打ち教室 (1講座 参加者 16人)

※要望のあった男性を対象にした料理教室を開催しました。定員16名のところ10名の方の参加となり、チラシにメニュー等を掲載すべきでした。

#### ●機器の老朽化への対応

保守点検等で指摘のあった機器や利用者から要望のあった誘導マットや車止めの交換といった修繕を計画的に行う中、経年劣化による受水槽からの水漏れや洗面・トイレといった水廻り機器のセンサー不良による故障が多く発生しました。備品の入れ替えについては、所管課へ事業報告書等により要望しております。

#### ●経費削減

委託契約の見積合せ、ピークカット契約の継続、蛍光灯の故障の際には、LED化を進めております。

※利用者のサービス向上の観点から、これまでの蛍光灯の間引きを取りやめました。

#### ●会館利用促進

会館利用団体の会員募集チラシ等を施設内に掲示し、会館PRのため、広報紙や宮バス時刻表に広告を掲載しました。